

中部シニアライフアドバイザー協会

SLA通信

第101号

新年度のご挨拶

会長 畑島美奈子

2023年度通常総会は滞りなく終了いたしました。

総会を終えて、「さあ新年度に向けて頑張って歩きましょう！」そんな晴れやかな気持ちにはなれないような重い決定をしました。

当日出席いただけなかった皆様の耳にも「全国一斉特設電話相談 シニアの悩み 110 番」を今年度より休止という幹事会からの提案に賛成可決の報は届いているかもしれません。

出席者の皆様には積極的な賛成というより、賛成せざるを得なかったという思いが強かったと感じております。総会前に提案してほしかった。休止はもう少し先送りしてもよかったのではないかと等々のご意見もあることは承知いたしております。

総会二部「協会活動の終活」の中でも様々な貴重なご意見を聞かせていただきました。

電話相談部会、幹事会、会長である私の力不足、体力不足と反省しております。

又、「全国一斉」と銘打った電話相談から「中部」が抜けることへの責任も感じておりますがお許しただくほかありません。

協会の主だった活動の一つがなくなり、それに代わる活動への模索をしなければなりません。会員の皆様のご理解と温かいご支援をお願いいたします。

報告が一つ。「NPO 法人中国 SLA 協会は解散いたしました」という衝撃的なメールが届きました。昨年秋の電話相談では90件近い相談件数で5協会中トップでした。唐突と思われる「解散」の知らせもこの決定に至るまでには様々な意見と思いがあり、熟考の末の結論であると推察いたします。残念ですが総会二部にて「協会活動の終活」を話し合った私たちとしては複雑な思いがあります。

中部 SLA 協会は来年結成30周年を迎えます。心に残るような記念行事ができるよう、こちらは楽しみながら考えていきたいと思っております。



2023年通常総会 報告

実施日：2023年4月21日（金）10：00～14：30

場 所：ナディアパークデザインセンタービル6階市民活動推進センター集会室

会員数：29名 出席17名 委任状9名

議長：高武知子 司会進行：(1部2部共)宮地祥子 記録者：白井恭子・高川眞砂代

第1部 通常総会

議事：第1号議案	2022年度活動報告	承認
第2号議案	2022年度会計報告	承認
第3号議案	2022年度会計監査報告	承認
第4号議案	2023年度活動計画(案)	承認
第5号議案	2023年度予算(案)	承認
第6号議案	2023年度役員候補者(案)	承認

すべての案件が承認されました

第2部 協会活動の終活 について

井出 勝男 記



午前中の総会を無事終了し、皆で久しぶりに外で楽しい食事をし、気分を一新し、午後から中部SLA協会の今後について考え話し合った。

参加者全員に各自の意見を発表して頂いた。

- 1 協会活動を今後いつまで続けたいか、続けられるか。
 - ・多くの方が2~3年という意見が大勢を占めた。
 - ・外部の組織とも協力し、また自分達でも学んでいく。
 - ・基金(約100万円)を有効に使い、皆元気なうちに旅行やその他で楽しんでゆく。
- 2 総会で決まった「シニアの悩み110番」
今年度より休止についての意見も出された。
今後幹事会で検討し、また皆さん「語ろう会」などにも積極的に参加して頂き、より良い着地点を見つけてゆきたい。



《これまでの報告》

- 第1回 語ろう会 出席者 10名
- ・日時 2月22日(水) 10:00~11:30
 - ・場所 イーブルなごや 中会議室
 - ・講師 名古屋市福祉協議会 弘田 直紀氏(社会福祉士)

・演題 エンディング（なごやか、あんしん）サポート事業

私達は、今まで SLA として、電話相談、研修会などを通じて自分達も学び能力を高めながら、世の為、人の為にと力を注ぎ実績を上げてきました。

しかし、これからは皆高齢化し、人のことより自分のこれからを真剣に考えねばならない。子や孫達がいても、遠くの場合なかなかすぐには対応出来ないこともある。

民間では金さえ払えば何でもしてくれる会社はたくさんある。しかし名古屋では、社会福祉協議会がエンディングサポート事業をしている。

今回、その事業を主にやっている弘田さんに、いろいろ話を聞いた。自分のこれからをじっくり考え、家族でよく話し合い、決めておきたい。そして、安心して前向きに楽しい日々を送っていこう。

井出 勝男 記

幹事会報告

開催日	主な議題
令和4年度1月定例会	・語ろう会について・総会1部2部について
2月定例会	・午前中開催語ろう会について・電話相談について・総会準備について
3月定例会	・電話相談役割確認・総会役割確認
令和5年度4月定例会	・今年度の活動方針・幹事会役割分担・総会での課題について
5月定例会	・語ろう会、研修内容について・通信101号掲載内容の確認
6月定例会	・セミナー開催について・拡大会議開催予定・30周年記念行事

中部シニアライフアドバイザー協会・名古屋市生涯学習センター協働による講座

中村生涯学習センターからスタートしたこの講座も本年度で7回目です。

昭和生涯学習センターにて6月9日より連続4回毎週金曜日の午前で開催されました。

- ・エンディングノートへの記入を通してこれまでとこれからを考える（畑島）
- ・コグニサイズで心も体も元気に（宮地）
- ・スクエアステップで生活に軽やかさを（大歳）
- ・笑って元気 心も体も活性化（加藤昂治）



名東部会（代表 黒須由紀子 会員数4名）

部会

6月16日(金)久しぶりの食事会を予定しましたが、体調を崩す者や急用などでキャンセルです。残念！

スクエアステップの会 定期研修会

① 日 時：4/2・5/14・6/11日 10:00～11:30

場 所：日進市北部福祉会館

参加者：一般人を含めて毎月5～7名ほど

② 日 時：6月19日(月)

場 所：名古屋市中区役所

参加者：「なごやかクラブなか」のシルバー代表者の方々 20名（10/20の予備練習会）

《これからの活動計画》

第3回 語ろう会

- ・日時 8月23日（水）13：30～15：00
 - ・場所 イーブルなごや中会議室
 - ・講師 シニアライフ研究所 りあもでんな代表 岡 久美子氏
 - ・演題 苦しむ人への援助と5つの課題～最近モヤモヤすることありませんか～
- 講師の岡久美子氏は「エンドオブライフ・ケア協会」 認定援助士いのちの授業 認定講師

地 域 部 会

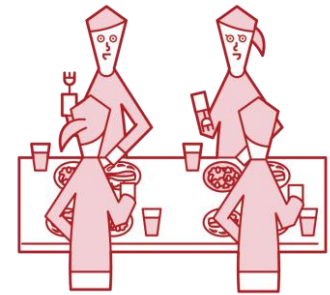
◆名南部会（第26回）開催のご案内～ノリタケの森見学と食事会～

ノリタケの森には、日本を代表する陶磁器メーカーであるノリタケカンパニーリミテドの本社があり、陶磁器の製造工程や様々な美術品が展示されています。また、魅力的な見学プログラムも用意されているので、磁器文化の魅力を体感していただきたいと思い下記のように企画いたしました。

皆様のご参加をお待ちしています。

記

1. 開催日時 2023年9月12日（火） 10時～13時30分 集合時間 9時50分
2. 集合場所 地下鉄東山線「亀島」駅 3番出口を出た所
3. 見学場所 ノリタケの森：名古屋市西区則武新町三丁目1番36号（TEL052-561-7114）
4. 会 食 レストランキルン TEL：052-561-7304
5. 会 費 4,000円（予定）
6. スケジュール
9：50 地下鉄「亀島」駅 3番出口集合
10：10～ クラフトセンター、ノリタケミュージアム見学
（敬老手帳をお持ちの方は、ご提示ください）
11：30～ 会食 レストランキルンで「ランチコース」
12：30 歴史を感じる「ノリタケの森」を散策ご解散



※その他・ノリタケミュージアムの入場料500円は、各自でお支払いください

ただし、敬老手帳を提示すると300円で入場できるので、お持ちの方は敬老手帳を持参ください

※・参加される方は、世話人まで連絡をお願いいたします

（世話人） 高武：090-8964-9381 大歳：090-7852-7073

◆名北部会

秋の徳川園散策とランチ会

日時：9月28日（木）11時30分

場所：徳川園ガーデンレストラン

◆名東部会 スクエアステップの会

日進市わいわいフェスティバル

7月1日（土）日進市市民会館で開催のフェスティバルに向けて準備中です。

このゆびとまれ (第14回) 《定光寺で秋のピザパーティーとトンネル散策》

昨年好評だったピザパーティーを今年も開催します。ふるってご参加ください。

- ・日 時： 2023年10月11日【水】
- ・行 き 先： 定光寺 廃線跡
- ・集 合 場 所： AM10:10 JR中央線定光寺駅階段下
- ・ピザパーティー： AM11:30～ ピザ、焼き餅 焼き芋 等
- ・費 用： 2000円程度
- ・持 ち 物： 飲み物、タオル、軍手、雨具
- ・申 込 み 先： 白井恭子 090-8470-7573
- ・申 込 み 締 切： 9月27日【水】

☆少雨決行。歩きやすい靴で参加してください。



浜松チンドン同好会「やらまいか！喜導鯛（きどうたい） 深津志郎座長

浜松市内の有志らで作る同チンドン同好会は6月1日 JR浜松駅北口地下広場で演奏会を開きました。派手な衣装を身にまとい、軽快な音楽を奏でて通行人らの注目を集めました。

司会の深津志郎座長は「チンドンを通して『笑顔と笑い』を届けたい。浜松がもっと明るくなれば」と話した。

—静岡新聞掲載記事—



Information

日常生活上のちょっとした困りごとを援助してくれるサービスです

名古屋市では一人暮らしの高齢者などに日常生活上の軽易な援助を行う「生活援助軽サービス事業」を名古屋市シルバー人材センターに委託して実施しています。

◇ サービスを利用できる方

- 65歳以上の一人暮らし世帯
- 65歳以上の方のみの世帯（夫婦世帯の場合は、いずれか一方が65歳以上の世帯）
- 65歳以上の方と障がい者の方又は18歳未満の方のみの世帯

◇ サービスの内容

- 利用回数：1世帯につき、年度内4回まで
- 作業内容：1回あたり1種類の作業、2時間以内に行える作業（窓ふき・電球交換・トイレ掃除・粗大ごみ出しなど）
- 利用料金：1回あたり210円

◇ 利用方法

シルバー人材センター各支部へ電話 営業時間 月～金曜 9:00～17:00

東部（昭和・瑞穂・緑・天白：842-4694）西部（北・西・中村・中）524-2181）

南部（熱田・中川・港・南：671-3161）北部（千種・東・守山・名東：938-3628）

◇ 制度に関する問い合わせ：名古屋健康福祉局高齢福祉課（TEL972-2544）

◇ 名古屋市の他、長久手市・春日井市でも実施。その他の自治体については制度の実施を含めて各自お問い合わせください。



山口 敏子

コロナ禍と言う前例のない道を人はそれぞれ異なった形で歩いてきた。苦しんだ人、悲しんだ家族、今活動が再開され、寒風が吹き荒れていた心の中も温まり皆がお互いを思いやりながら、困難な状況を乗り越えてきた。この3年間は全てが無駄ではなかった。

しかし一方では、ロシアのウクライナ侵攻から一年余り、終わりのない戦いが続いている中、シリア地震、12年前の東日本大震災と、遺族の方の悲しい心の痛みは計り知れない。

ある日私の職場に98歳の患者さんが足の骨を折って入院された。「痛むでしょう」と声をかけると「私は戦争を体験し、激動の時代を生きてきた。これくらいの事はなんでもない。まだまだ頑張って生きていかなければ」と笑って言われた時、この方の心の中ではまだ戦争は終わっていなかったということを感じた。諦めなければ苦しみは過程にすぎない、そして災害の重さを忘れてはいけないと思った。

私の友人が老人ホームに入居していることを知り、久しぶりに会いに行った。玄関先で変わり果てた彼女の姿を見たとき涙が溢れて止まらなかった。

そして彼女は私に「生きていても何も良い事はない。子供に迷惑をかけるだけ。土地を売り、家を失って帰る場所もない。早く死にたい」と泣いて私につぶやいた。

そんな彼女の言葉を聞いて、介護する人、される人、それぞれ形は違うけれど、大変な事に変わりはない。人は年をとる程に孤独と共に生きていかなければならない。そしてその運命に打ち勝つ強い心が大切ではないだろうかと考えさせられた。



私がSLAに入るときに、人の痛みを寄り添い感動する心、好奇心、未知の人生に挑戦する喜びを感じさせられないか、一人の力では出来なくても多くの人となら出来る事があるのではないかと意気込みをもって入会した。他の会員の方々は色々と活動されている。

それに比べて自分は何も出来ていないと痛感した。しかし会員の皆さんに出会い、触れ合い多くの事を学び沢山の良き思い出となった。だから私にとって入会した意味はとても大きい。

昨年喜寿のお祝いをしてもらった。今年78歳となった途端、色々なボランティア活動が定年を迎えた。家族が30年間の苦勞をねぎらい花束をプレゼントしてくれた。

自分は幸福者だと思う。今のこの世の中人生は未完成、何が起きるかわからない。電気で車が走り、車が空を飛び、人々が宇宙に行ける。ロボットが食事を運ぶ。ネットで自由に物が買え品物が家まで届く、想像もできない事であるけど現実である。

心も体もサビずに心豊かに後10年、20年生きて世の中の移り変わりを見ていたいと思うのは欲張りだろうか。年を重ね自分はどんな人生を送ってきたのか友や家族と語り合えたらその時に“私の人生は最高だった”と言いたい！

最後に「自分だけが幸福になってはいけない。みんなが幸福になってこそ本当に幸福になれる」と思う。